

復興
彰往考來の
こころに学ぶ
敬び

第39回 建築士事務所 全国大会 茨城大会

大会 式典 茨城県立県民文化センター
記念パーティー 水戸プラザホテル

2015
10
/
16
[金]



弘道館(水戸)



主催 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

主管 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階 TEL 029-305-7771 FAX 029-305-7791 <http://www.f-jk.org>

第39回建築士事務所全国大会 茨城大会 開催地会長挨拶



よろこ 復興の歓び

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
会長 横須賀満夫

このたび、日事連の全国大会を茨城県で開催するにあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。茨城会は、昭和59年5月に創立以来今日まで、建築士事務所の健全な運営と業務の進歩改善に資するため、積極的に活動を展開してまいりました。今般、創立31年目にして第39回目の全国大会を茨城県で開催できることは、この上ない栄誉であります。

さて、昨年は建築設計3会により、設計・監理の「業」の適正化など建築士法の改正が実現し本年度施行の運びとなりました。各単位会の皆様におかれましても、講習会の実施などに取り組まれておられていることと思います。しかしながら、我々が目指す「(仮称)建築士事務所法」への道のりは未だ遠いものがあります。そのためには、会員増強に努め建築設計業界の発言力を強めていかななくてはなりません。茨城会においても、会員増強は喫緊の課題と捉え鋭意取り組んでいるところであります。

茨城県は、平坦で住みやすく自然災害の少ない県とされておりましたが、東日本大震災において甚大なる被害をこうむりましたことは、記憶に新しいところであります。その後、県民一丸となって復旧、そして、復興に取り組み、やっと震災の後遺症から抜け出しつつあります。我々建築に携わる者といたしましても、今後の建築物のあるべき姿について真摯に向き合い、復旧・復興に取り組んでまいりました。一方で、東北3県をはじめとした被災地では現在でも多くの人々が苦しみ、元の生活に戻れない状態が続いております。その中で、全国の会員が集う茨城県から被災地の復興を祈り願い、そして、叶うという思いを込め、今回の茨城大会は、「復興の歓び」を大会テーマとしております。現在、茨城会一丸となって、日事連のご指導、関東甲信越ブロック協議会のご支援、全国の単位会

のご協力のもと大会の準備を進めているところであります。

茨城大会のポスターになっております弘道館は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公が、藩士の教育のために1841年に創設し、当時の藩校としては国内最大級のもので、武芸一般はもとより医学・薬学・天文学を取り入れた現在の総合大学的なものでありました。また、日本三大名園の一つであります偕楽園は、弘道館での勉学の休息のため翌年に開設されたものであります。この弘道館も震災において被災し、文化財建造物保存技術協会及び清水建設(株)により、震災以前の姿に「復興」したところであります。工事にあたりは、文化財でもあることから大変な苦労があったと聞いております。このたび、偕楽園などとともに日本遺産に認定され、知名度も上がり賑わいを呈しているところでもあります。大会にお越しの際は、是非とも見学していただきたい建物の1つであります。

民間調査機関による調査では、人気度、承認度、周知度について47都道府県の最下位にある茨城県ではございますが、人情味あふれる人々と自然環境に恵まれております。茨城県は、海産物や農産物の宝庫でありますので、お越しの際には、見て感じて味わって十分に満喫していただきたいと思っております。

結びにあたり、全国大会は、会員の皆様が建築設計監理業の公共性と社会的役割に対する意識の高揚を図り、もって建築士事務所の業務の進歩改善に努め、社会の期待に応える、より良い環境づくりに積極的に貢献することを目的に一堂に会し、併せて会員相互の連携と友情を深め合う大会であります。多くの方のご出席をいただき、有意義な大会にしたいと思っておりますので、皆様方におかれましては是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

第 39 回建築士事務所全国大会 (茨城大会) 概要

○大会テーマ：復興の歓び

○大会スローガン：しょうおうこうらい 彰往考來のところに学ぶ

「彰考」とは、第二代水戸藩主の徳川光圀が修史局「彰考館」の命名に用いた語であり、孔子が編纂した『春秋』の代表的な注釈書のひとつである『春秋左氏伝』の序の語「彰往考來」に由来します。「彰往考來」とは、過去をあきらかにして未来を考えるという意味です。

○開催日：平成 27 年 10 月 16 日 (金) 大会式典、記念パーティー

○大会会場・作品展展示：茨城県立県民文化センター



茨城県水戸市千波町 697
(029) 241-1166

○記念パーティー会場：水戸プラザホテル



茨城県水戸市千波町 2078-1
(029) 305-8111

○参加費：大会参加費 4,000 円
記念パーティー参加費 12,000 円

○主なスケジュール

10月16日(金) 大会式典・記念パーティー	
10:00 ~	登録受付開始 (会場：県民文化センター) 日事連建築賞作品展・茨城作品展 物産展、企業展
12:45 ~ 14:00	対談 (会場：県民文化センター) 鈴木暎一氏・小塚のり子氏
14:15 ~ 15:45	基調講演 (会場：県民文化センター) 古谷誠章氏・妹島和世氏
16:00 ~ 18:00	大会式典 (会場：県民文化センター) 日事連建築賞表彰、功労者表彰 大会宣言、第 41 回開催地会長挨拶
18:30 ~ 20:30	パーティー会場へシャトルバスで移動 記念パーティー (会場：水戸プラザホテル)
10月17日(土)	
8:30 ~	ゴルフコンペ (会場：大洗ゴルフ倶楽部)

<会場までのアクセス>

○茨城県立県民文化センター 水戸駅から徒歩約 20 分 バス・タクシー 約 10 分	茨城空港からJR水戸駅まで 空港連絡バス (高速) 約 40 分 空港連絡バス 約 70 分 タクシー 約 35 分
○水戸プラザホテル 水戸駅南口～水戸プラザホテル 無料シャトルバス・タクシー 約 15 分	



大会事務局：一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 (主管会)
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館 2 階
TEL (029) 305-7771 FAX (029) 305-7791
Eメール ikyokai@i-jk.org
※大会の最新情報は、HPをご覧ください。
<http://www.i-jk.org>

○対談

日時：10月16日(金) 12:45～14:00
 会場：茨城県立県民文化センター(大ホール)
 定員：1,500名
 講師



茨城大学名誉教授 文学博士
 鈴木暎一氏



弘道館事務所史料研究業務嘱託員
 小塚のり子氏

演題 「弘道館の震災復旧事業に携わって
 —その過去・現在・未来を考える—



写真提供：弘道館事務所

弘道館

○基調講演

日時：10月16日(金) 14:15～15:45
 会場：茨城県立県民文化センター(大ホール)
 定員：1,500名
 講師



建築家・NASCA 代表
 早稲田大学教授
 古谷誠章氏



建築家
 妹島和世建築設計事務所 代表
 妹島和世氏

演題 「人びとの集まる、しなやかな建築(仮)」



実践学園中学・高等学校 自由学習館 設計：NASCA



小布施町立図書館 まちとよテラス 設計：NASCA



ルーヴル・ランス 設計：SANAA

co-auteurs du Musée du Louvre-Lens : © SANAA / Kazuyo Sejima et Ryue Nishizawa - IMREY CULBERT / Celia Imrey et Tim Culbert - MOSBACH PAYSAGISTE / Catherine Mosbach, Photographie © SANAA

○ゴルフコンペ

日時：10月17日(土) 8:30(現地集合)
 会場：大洗ゴルフ倶楽部(東茨城郡大洗町磯浜町 8231-1)
 参加費：3,000円/お一人様
 プレー料金：29,000円程度(昼食別)/お一人様
 定員：32名
 競技方式：新ペリア方式

スケジュール表	
8:30	現地集合
9:00	スタート(1組目) アウト・イン各4組
	コースアウト
	解散

※賞品は後日お送りします。



フェアウェイの先には大洗の海が望める



大洗ゴルフ倶楽部は、井上誠氏による設計で「三菱ギャラントーナメント」、「ダイヤモンドカップゴルフ」などで全国的にも名門として知られております。「ダイヤモンドカップゴルフ2013」では、松山英樹プロが優勝しています。林間コースではありますが、コースのところどころから海を望むことができるこのチャンピオンコースに、あなたも挑戦してみませんか。

○大会参加等

1. 大会の参加案内等については、6月上旬頃に所属単位会事務局へ送付する予定です。
2. 大会参加については、所属単位会事務局へお問い合わせください。(所属単位会事務局は7月31日(金)までに茨城会事務局へお申し込みください。)
3. 入金後の大会参加費及び記念パーティー参加費の返金はいたしません。